

証券コード 4750

2026年4月期 第三四半期 決算補足説明資料

2026年3月3日

株式会社ダイサン

Reborn 50

2025年4月1日 設立50周年を迎えました

この大きな節目を迎えることができましたのは、ひとえに日頃よりご愛顧いただいておりますお客様、地域社会の皆様、株主様、そして関係者の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。従業員一同、50年間の感謝を胸に、当社パーパスである「人と現場を守り抜く」の実現を通じて社会課題の解決に貢献し、新たなステージを目指してより一層努力してまいります。

設立50周年 記念行事



フットサル大会 —ありがとうのパスをつなごう— 50th Anniversary DAISAN CUP

新たなステージに向けて結束力を高めることを目的に、当社で働く多国籍の従業員が言葉の壁を越えて楽しめる企画としてフットサル大会を実施いたしました。50年間の感謝を込めたコンセプト「ありがとうのパスをつなごう」を掲げ、功労表彰なども行われました。



記念式典

6月11日、インターコンチネンタルホテル大阪にて、設立50周年記念式典を開催しました。式典では、功労者への表彰や、ダイサンの歴史・人・未来に関する企画を行い、多くの従業員ならびに関係者の皆様と紡いだ50年の軌跡を感じるとともに、新たな50年に向けての良き門出となりました。

連結範囲の変更

当連結会計年度において、非連結子会社であったGolden Light House Engineering Pte. Ltd.は、重要性が増したため連結の範囲に含めております



■ 施工サービス事業

ビケ足場、レボルト等を使用した
設計、施工サービス



■ 製商品販売事業

ビケ足場、レボルト等足場用仮設機材の
開発・製造・販売および一般仮設材の製造販売



■ 海外事業

シンガポールにて主にプラントのメンテナンス向けに、
足場工事を中心とした熱絶縁工事や電気工事などの
付帯工事を受注する事業を展開

株式会社ダイサン

Mirador Building
Contractor Pte. Ltd.

連結範囲の変更



Golden Light House
Engineering Pte. Ltd.

事業内容

従来の海外事業と同じく、シンガポール
においてプラントのメンテナンスを主と
した事業を展開

目次

- 01 企業概要
- 02 業績ハイライト
- 03 2026年4月期 3Q実績
- 04 当期の見通し
- 05 参考資料

パーパス

人と現場を守り抜く

これまでも我々は品質の高い足場提供により、現場で働く人の心身を守ってきた。
人手不足を始めとした環境変化により、
建設業界以外でも“働く現場”の課題は変化し続けている。
ダイサンはイノベーターとして技術・技能を駆使し、現場の課題解決を続ける。
社会での安全なくらしと関わる全ての人々の幸せを守り抜くために。

社名	株式会社ダイサン
設立	1975年4月
本社所在地	大阪府中央区南本町2丁目6番12号 サンマリオンタワー3階
資本金	1億円
取引市場	株式会社 東京証券取引所 スタンダード市場 証券コード 4750

02

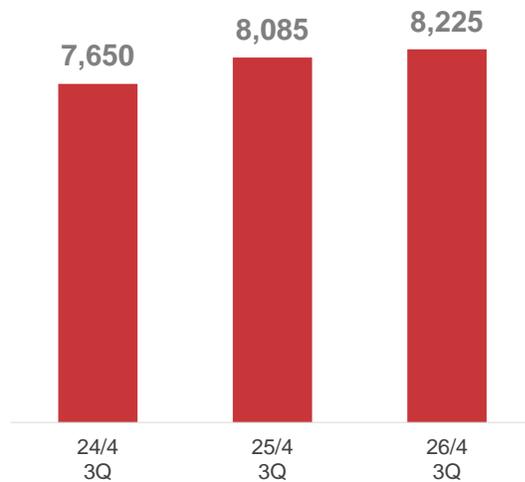
業績ハイライト

業績ハイライト

売上高

8,225百万円

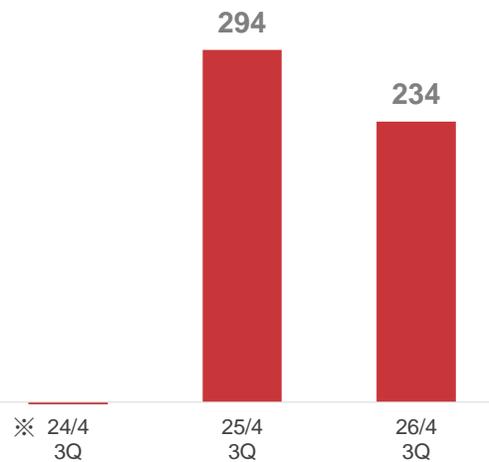
前年同期比 101.7%



営業利益

234百万円

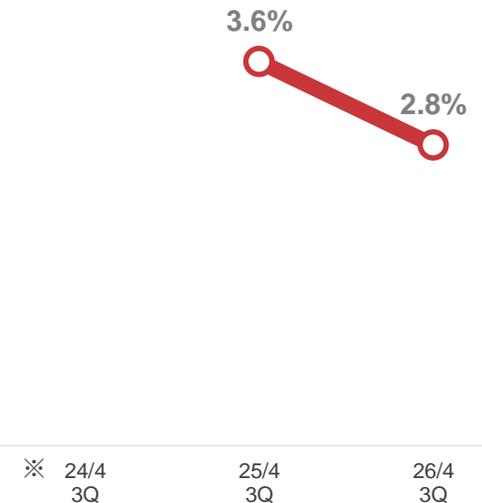
前年同期比 79.6%



営業利益率

2.8%

前年同期比△0.8pt



※ 24/4期は営業損失のため非表示となっております

売上高は概ね前年同期並みで推移

営業利益は、連結範囲の拡大による増益効果があった一方、国内外での人的資本投資に伴う費用増等の影響により、前年同期比で減益となる

03
2026年4月期 3Q実績

連結業績概要

売上高は、施工サービス事業が堅調に推移し前年同期を上回る

一方、前年に建築基準法改正の影響で増加していた製商品販売事業の反動減もあり、全体としてはわずかに増収

ベースアップの実施や施工体制強化に伴う人件費増加により、営業利益は前年同期を下回る

(単位：百万円)	(参考) 2025年4月期 3Q累計	2026年4月期 3Q累計	増減	
			増減額	増減比
売上高	8,085	8,225	+140	101.7%
売上原価	5,687	5,828	+141	102.5%
売上総利益	2,397	2,397	△0	100.0%
販管費	2,103	2,163	+59	102.8%
営業利益	294	234	△59	79.6%
経常利益	282	264	△17	93.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	247	235	△11	95.2%

セグメント業績概要

施工サービス事業



ビケ足場、レポルト等を使用した
設計、施工サービス



売上高

5,624百万円

前年同期比 104.0%

製商品販売事業



ビケ足場、レポルト、
枠組み足場等足場用仮設機材の
開発・製造・販売および一般仮設材の製造販売



売上高

793百万円

前年同期比 89.3%

海外事業



シンガポールにて
主にプラントのメンテナンス向けに、
足場工事を中心とした熱絶縁工事や
電気工事などの付帯工事を受注する事業を展開



売上高

1,761百万円

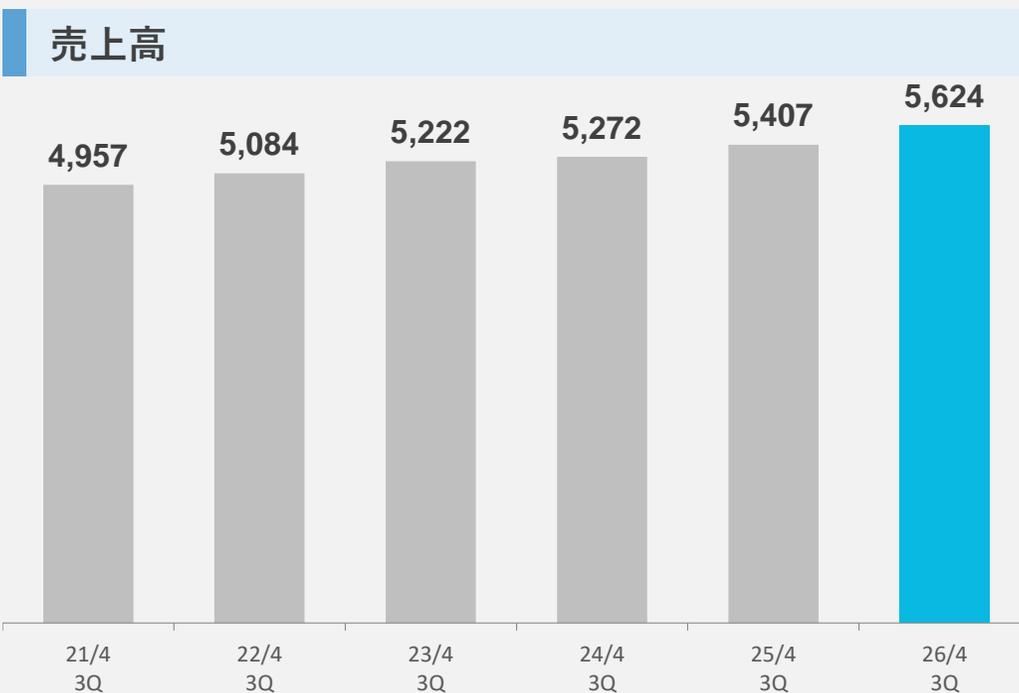
前年同期比 101.1%

その他 業務受託及び保険代理店ほか

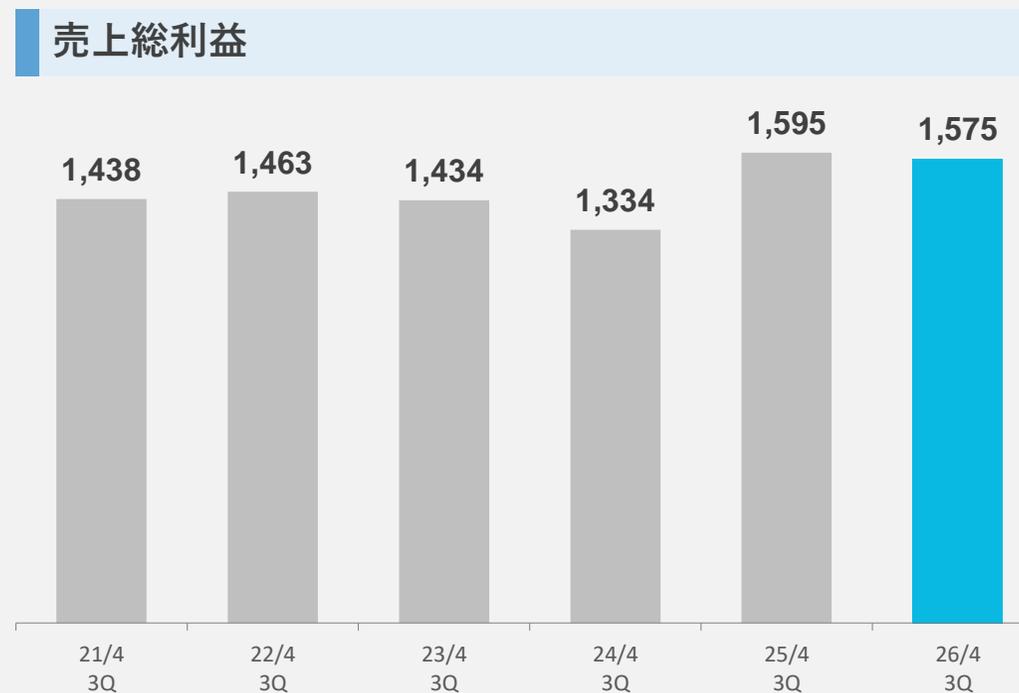
施工サービス事業 業績概要

(単位：百万円)	(参考) 2025年4月期 3Q累計	2026年4月期 3Q累計	増減	
			増減額	増減比
売上高	5,407	5,624	+217	104.0%
売上総利益	1,595	1,575	△19	98.8%

(単位：百万円)



(単位：百万円)



施工サービス事業 商品別売上高



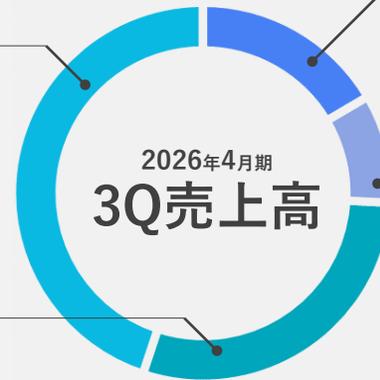
注文住宅 44.8%

主に施主様が土地を購入し、
建物を建築する際の足場
※1棟の受注が多い



リフォーム 28.7%

増改築工事、外装工事などの
リフォーム現場向け足場



大型建築物 17.1%

マンション、工場、店舗などの
大型建築物向け足場

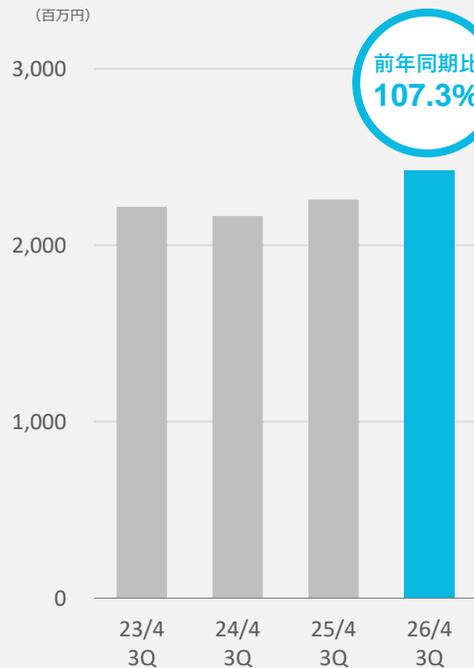


分譲住宅 9.4%

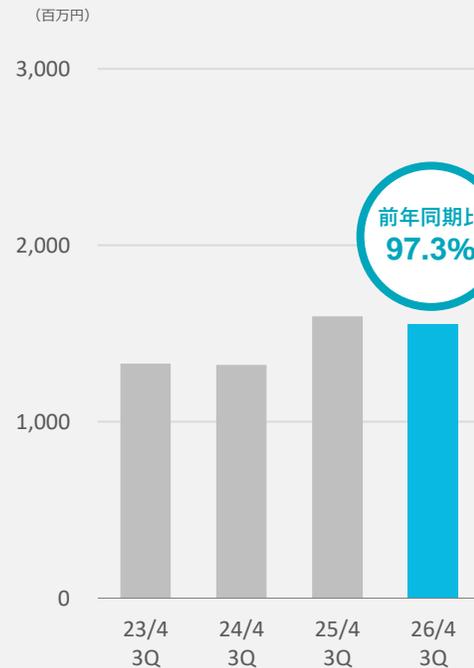
主に不動産会社が土地を購入し、
建物を建築する際の足場
※複数棟の受注が多い



注文住宅



リフォーム



分譲住宅



大型建築物

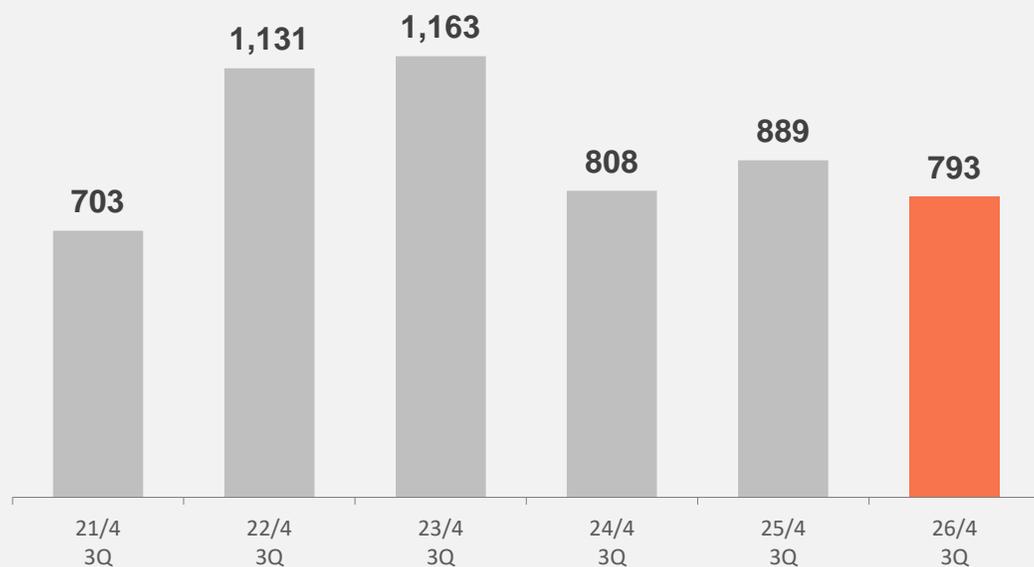


製商品販売事業 業績概要

(単位：百万円)	(参考) 2025年4月期 3Q累計	2026年4月期 3Q累計	増減	
			増減額	増減比
売上高	889	793	△95	89.3%
売上総利益	240	223	△17	92.7%

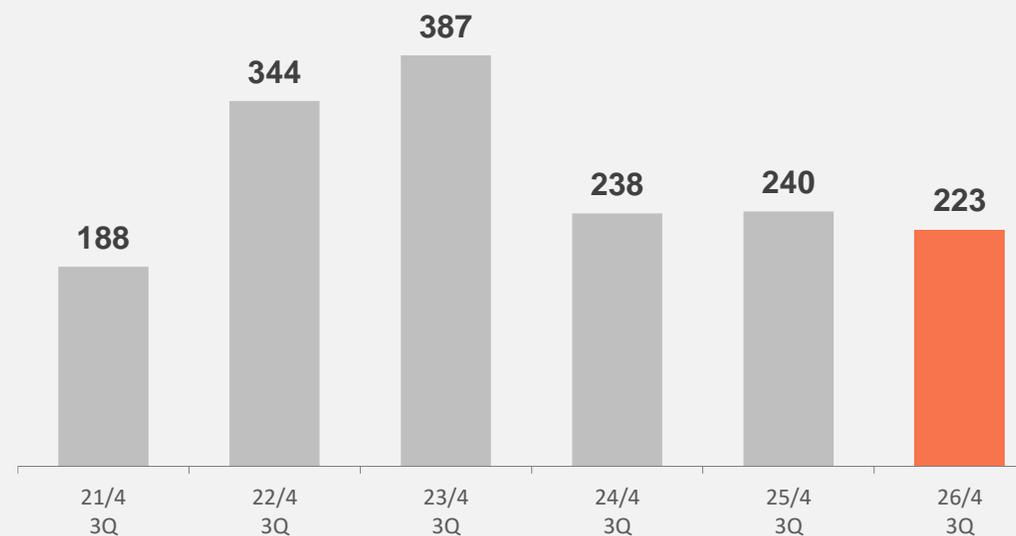
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

売上総利益



製商品販売事業 商品別売上高

ビケ部材等 **70.8%**

当社が製造する「ビケ足場」
「レボルト」の各種部材等

主な市場

住宅向け …

ビケ足場

中層大型建築物向け …

Le-volt
レボルト



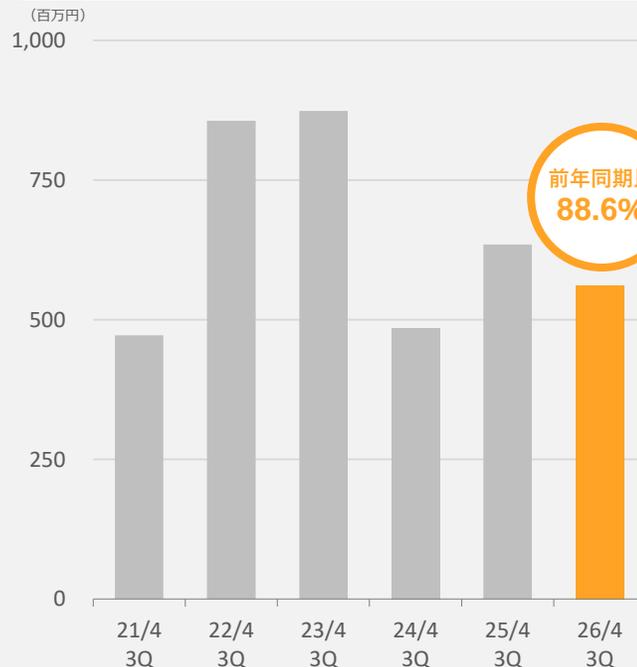
一般仮設材 **29.2%**

ビルなどの中高層建築工事や
橋梁などの土木工事で使われる
一般仮設材

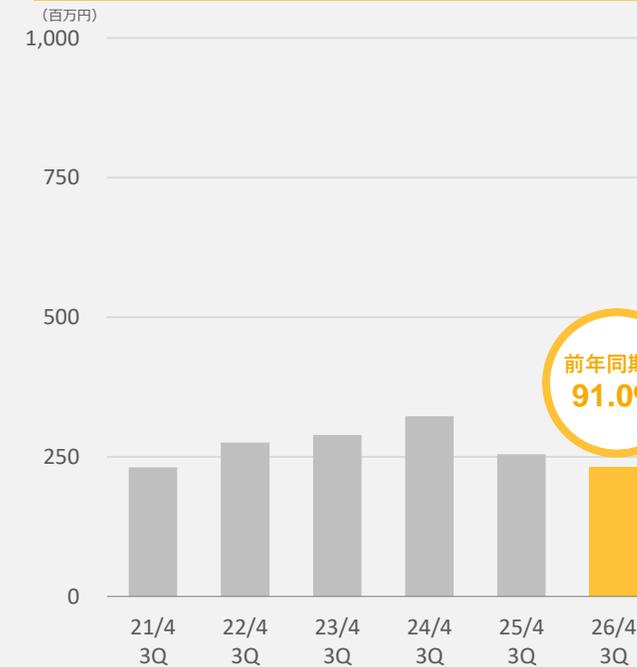


クランプ
メッシュシート 他

ビケ部材等



一般仮設材

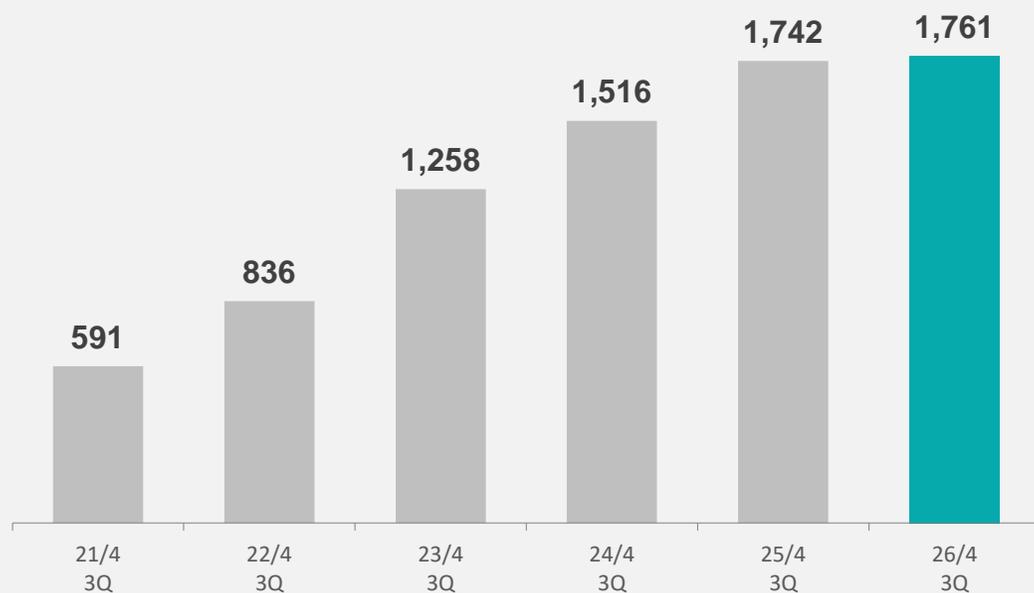


海外事業 業績概要

(単位：百万円)	(参考) 2025年4月期 3Q累計	2026年4月期 3Q累計	増減	
			増減額	増減比
売上高	1,742	1,761	+18	101.1%
売上総利益	523	557	+33	106.4%

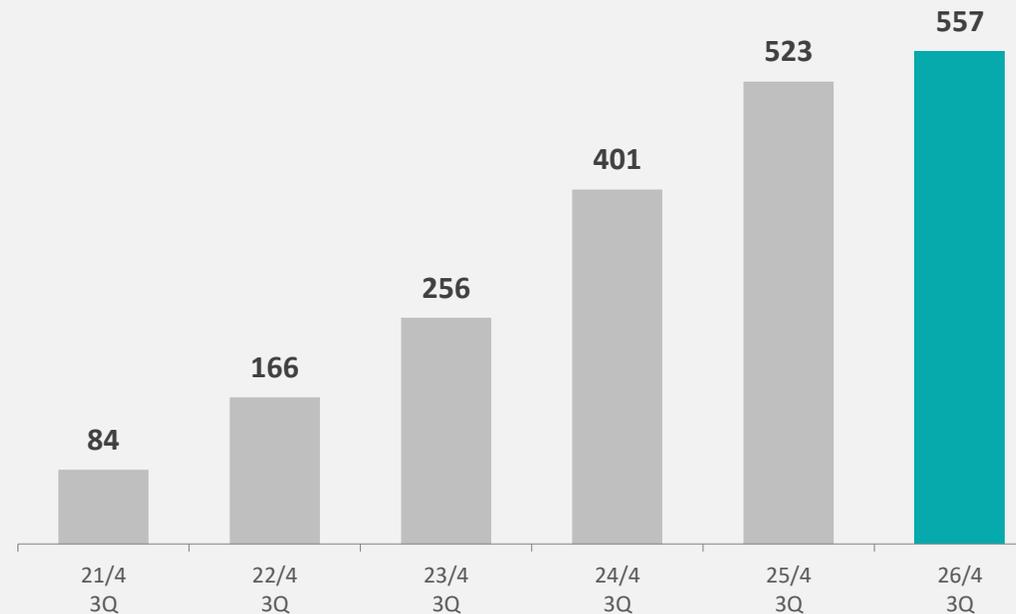
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

売上総利益

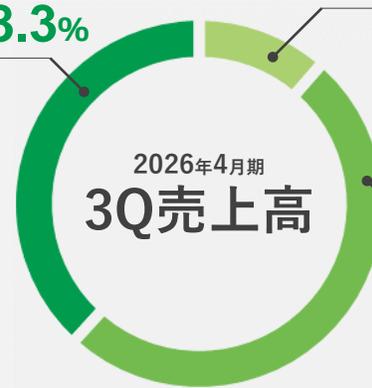


海外事業 商品別売上高



プラントオペレーション **38.3%**

プラントの維持、メンテナンス
灰輸送など



清掃その他 **11.4%**

ビル、オフィス等の清掃業



エンジニアリング **50.3%**

足場工事、熱絶縁工事や
電気工事など



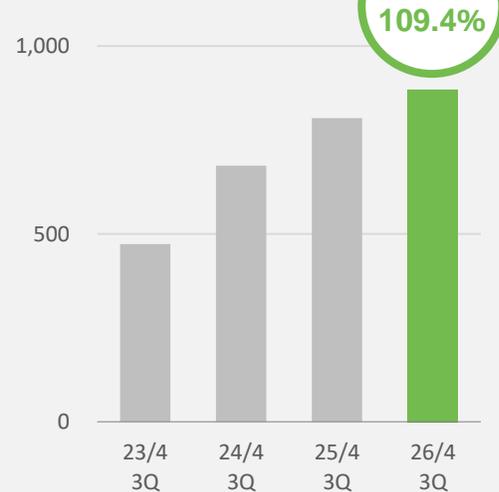
プラントオペレーション

(百万円)
1,500



エンジニアリング

(百万円)
1,500



清掃 その他

(百万円)
1,500



財政状態

フリー・キャッシュ・フローが前期に続き安定的に創出され、借入金の返済を着実に実行
海外事業における不動産売却に伴い固定資産は306百万円減少し、総資産は前期末比で縮小となる

(単位：百万円)	2025年4月期 期末	2026年4月期 3Q	増減額
流動資産	6,456	6,537	+81
固定資産	3,735	3,429	△306
資産合計	10,192	9,967	△225
流動負債	4,038	3,857	△180
固定負債	587	429	△158
純資産	5,566	5,680	+113
負債・純資産合計	10,192	9,967	△225
自己資本比率	54.6%	57.0%	+2.4pt
1株当たり純資産	868.01円	885.74円	+17.73円

04

当期の見通し

当期の見通し

米国における経済・貿易政策の方向性への懸念や為替の変動、中国経済の失速、地域紛争による国際情勢不安など、依然として不確実性の高い状況が続いております。また、エネルギー価格や原材料価格、調達コストへの影響についても引き続き注視が必要な状況が続くものと見込まれます。

国内においては、個人所得の改善や雇用環境の回復などを背景に個人消費は堅調に推移しており、緩やかな景気回復が続いております。しかしながら、円安の長期化や物価の上昇基調により、先行きは不透明な状況が続くものと思われまます。また、少子高齢化に伴う人口減少や熟練技術者の引退による労働者不足が想定され、人材確保に向けた取り組みが益々重要となっています。

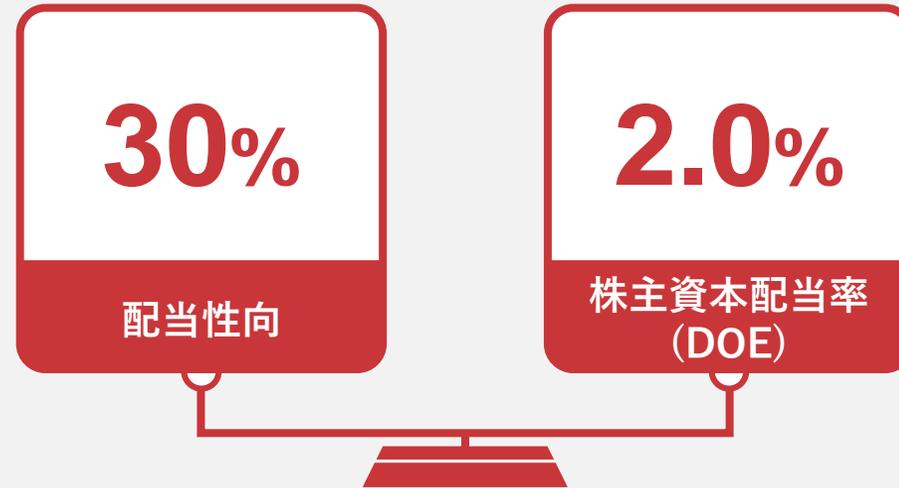
これら国内外の経済見通しを踏まえ、当社グループでは第4次中期経営計画の方針を「Reborn」と掲げ、建設業界へのイノベーションを創出し、継続的な事業拡大と持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

(単位：百万円)	(参考) 2025年4月期	2026年4月期 予想	増減	
			増減額	増減比
売上高	10,837	11,500	+662	106.1%
営業利益	370	420	+49	113.3%
経常利益	346	410	+63	118.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	335	330	△5	98.4%

当期の見通し 配当方針

基本方針

当社は、利益配分に関しましては、企業価値の向上と株主の皆様への還元の結びつきをより明確にできるよう、配当性向30%、もしくは株主資本配当率DOE 2.0%のうち、いずれか高い方を下限として利益配分させていただくことを基本方針としております。

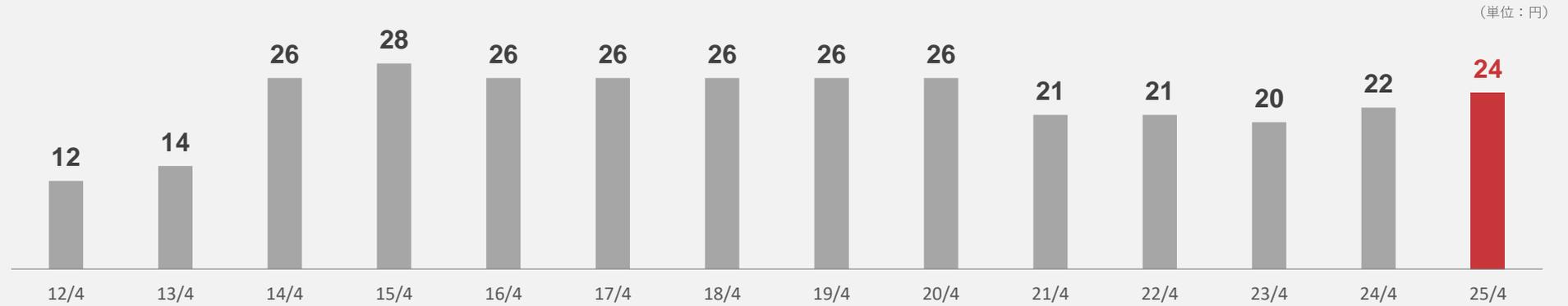


いずれか高い方を下限として利益配分

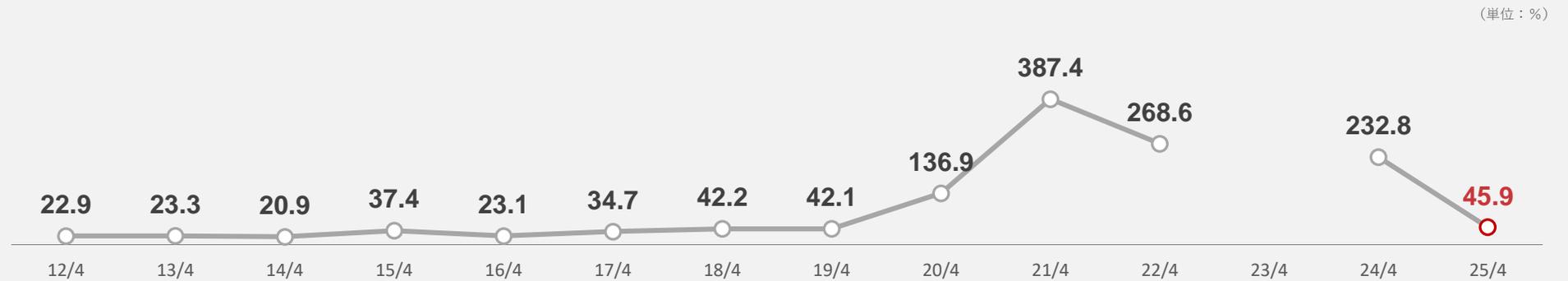
これらの方針により、当期の配当金は、中間11円、期末11円の1株当たり年間配当金22円とさせていただく予定であります。

当期の見通し 配当方針

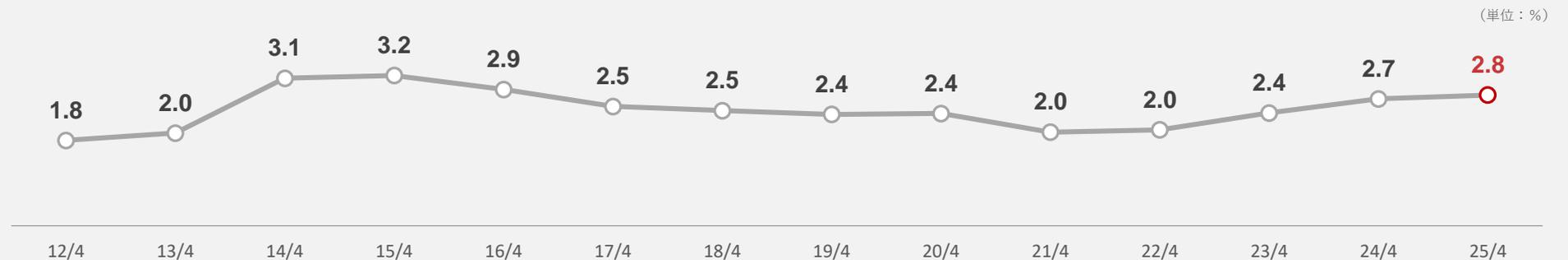
1株当たり 配当金



配当性向



株主資本配当率 (DOE)



株主資本については、配当による流出前の値を使用しております。

05

參考資料

参考資料

(百万円)	20/4 (3Q)	21/4 (3Q)	22/4 (3Q)	23/4 (3Q)	24/4 (3Q)	25/4 (3Q)	26/4 (3Q)
売上高	7,352	6,305	7,104	7,695	7,650	8,085	8,225
売上原価	5,062	4,555	5,093	5,577	5,634	5,687	5,828
売上総利益	2,289	1,749	2,011	2,118	2,015	2,397	2,397
販売費及び一般管理費	2,112	1,969	2,177	2,339	2,078	2,103	2,163
営業利益又は営業損失	177	△219	△165	△221	△63	294	234
経常利益又は経常損失	177	49	△87	△154	△71	282	264
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失	66	20	△75	△153	△20	247	235

(百万円)	20/4	21/4	22/4	23/4	24/4	25/4	26/4 (3Q)
総資産	10,397	10,000	10,216	10,097	10,372	10,192	9,967
棚卸資産	868	952	1,222	1,317	1,199	913	812
流動資産	5,381	5,154	5,783	6,182	6,628	6,456	6,537
固定資産	5,015	4,846	4,433	3,914	3,743	3,735	3,429
流動負債	2,064	2,131	2,682	3,794	4,173	4,038	3,857
固定負債	1,321	1,155	967	923	844	587	429
自己資本	6,867	6,645	6,533	5,379	5,354	5,566	5,680
資本合計/純資産合計	7,012	6,713	6,566	5,379	5,354	5,566	5,680
資本金	566	566	566	100	100	100	100
負債・純資産合計	10,397	10,053	10,216	10,097	10,372	10,192	9,967



ご注意

本資料の予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

この資料で提供される全ての情報は、著作権法およびその他の法律により保護されています。無断での引用や転載、複製は禁じられております。